

2009 年第 29 回世界新体操選手権にかかるアンケートの実施報告について

アンケートの最終結果を報告します。

なお、同アンケートの内容及び回答集計結果については、e-モニターのホームページ <http://www.e-kocho.pref.mie.jp/monitor/index.html?a=top;result&id=43> をご覧ください。

1 アンケート実施期間

平成 20 年 7 月 25 日(金) ~ 平成 20 年 8 月 15 日(金)

2 意見集約の結果

対象者数 1,145 名
回答者数 839 名
回答率 73.3 %

3 回答者の属性

(1) 性別	男性	444 人(52.9%)
	女性	395 人(47.1%)
(2) 年代別	20 代	102 人(12.2%)
	30 代	207 人(24.7%)
	40 代	200 人(23.8%)
	50 代	183 人(21.8%)
	60 代	115 人(13.7%)
	70 以上	32 人(3.8%)

4 アンケート結果について

【Q1 新体操の観戦経験について】

ポスター、写真等の閲覧は含まないという条件の下、新体操という競技スポーツの観戦経験の有無についてお聞きしたところ、「ある」と答えた方が 87.0%(730 人)、「ない」と答えた方が 13.0%(109 人)と、約 9 割の方が観戦の経験があるという結果でした。

【Q2 北京オリンピックについて】

新体操日本代表の北京オリンピック出場を知っているかお聞きしたところ、「知っている」と答えた方が58.3%(489人)で、約6割の方が日本代表の出場を知っていました。

【Q3 北京オリンピック新体操競技への興味について】

北京オリンピックの新体操競技の観戦(テレビ放送等による観戦を含む)予定をお聞きしたところ、「観戦する予定」と答えた方が26.4%(221人)、「観戦しない」と答えた方が17.6%(148人)、「わからない」と答えた方が56.0%(470人)でした。

【Q4 世界新体操選手権の認知度について】

新体操の世界選手権が来年、三重県で開催されることを知っていたかお聞きしたところ、「知っていた」と答えた方は39.8%(334人)、「知らなかった」と答えた方は60.2%(505人)でした。

昨年度行ったアンケート結果では、「知っていた」と答えた方が県内全域で14.3%だったのに対し、さまざまな広報・宣伝活動を行ってきた結果、今年度は39.8%と25.5ポイント上昇しています。

また、開催地域である伊勢・鳥羽・志摩の三市では64.6%と前年度の32.8%に比べ31.8ポイント上昇しました。

【Q5 広報媒体について】(複数回答可)

Q4で大会開催を「知っている」と答えた方に対し、それを知った広報媒体についてお聞きしたところ、「昨年度のe-モニターアンケート」48.2%(161人)、「ポスター」27.2%(91人)、「新聞」18.2%(61人)、「市広報紙」13.1%(44人)の順となっており、以下「口コミ」11.6%(39人)、「懸垂幕(横断幕)やのぼり旗」10.7%(36人)、「ホームページ」8.9%(30人)、「チラシ」8.6%(29人)、「雑誌」2.3%(8人)の順でした。

また、選択項目以外の回答としては、「テレビニュース」、「うちわをもらって」、「学校や子どもを通じて」という回答などがありました。

【Q6 大会ボランティアについて】

ボランティアとして大会に「関わってみたい」と答えた方は9.9%(83人)、「特に思わ

ない」と答えた方は83.0%(696人)でした。

その他の記述欄には、「時間の都合がつけば関わってみたい」という意見が多くみられ、その他「内容、任務、条件による」、「関わりたいが場所が遠い」などの意見がありました。

【Q7 大会に期待するもの】(複数回答可)

この大会がどのような大会になることを期待するかをお聞きしたところ、「地元が大いに盛り上がり、選手や観客を歓迎する催し物などが多く行われる。」と答えた方が36.9%(310人)と最も多く、次いで「多くの選手や観客が訪れ、地元を経済的効果をもたらされる。」、「三重や伊勢志摩の歴史や文化などが世界に発信される。」がそれぞれ36.2%(304人)、「選手たちが見せる美しさや強さが、多くの人に夢と感動を与え、スポーツの素晴らしさを教えてくれる。」と答えた方が27.1%(228人)という回答が主なものでした。

世界新体操選手権準備室では、今回のアンケートで皆さまから得られた声を参考に、大会の成功に向け準備を進めるとともに、さらなるPRに努めます。ご回答いただきましたモニターの皆さんに改めてお礼申し上げます。